

米軍使用地使用说明書

当公社は 昭和32年末までに中間試験工場の建設を終了、引続き製錬所の建設に着手する計画で準備をすすめているが全工場の敷地としては茨城県那珂湊市内国有地三六〇万坪が左記理由により最適地と思料される。しかるに全地域は 目下米軍爆撃演習場の一部として接収中であるので全地域の接収解除を行い、当公社への使用認可方を希望している。

なお 東海村日本原子力研究所敷地内には、すでにその余地なく又晴嵐荘附近については一部民有地買収の必要、既設設備の利用の点において那珂湊地域に劣るものと考えられるので那珂湊市地域の使用方を特に希望する。

記

- 一 全地域が国有地であるので敷地買収の手続きを要しない。
- 二 全地域が、すでに整理されており直ちに工場建設に着手し得る。
- 三 格納庫施設等を鉾石置場寺に使用可能である。
- 四 工場用水については、敷地内にある既存給水施設にて足りる。また電力についても容易に送電施設となし得る。
- 五 住宅その他の原生施設の敷地も充分考慮し得る。
- 六 近在において労働力の確保を期待し得る。
- 七 水戸市より20分・勝田市より10分の巨港にあり交通的にも便利である。
- 八 日本原子力研究所に近接しているので研究その他に便利である。
- 九 将来の計画拡張が充分可能である。特に廃棄物の処理については、海岸に近く、また 面積的にも好条件にめぐまれている。

註

以上は第一候補地についてである。

製錬工場計画案

公社の事業目標は、目下の如く昭和三十四年（一九五九年）完成予定の国産原子炉用燃料要素の供給だけにとどまれているが、国内鉱石に対する採鉱も有望に発展する見通しを得つつあるに際し、将来目標として工業的実生産の規模を次のようにするのも一案として考へられる。

案末

一 生産目標 金属ウラン年間生産量 一〇〇吨
 二 所用用地 約三〇〇,〇〇〇坪

- (内訳)
- (1) 工場及び附属建物用地 二五,〇〇〇坪
 - (2) 住宅及び厚生福祉施設用地 四〇,〇〇〇坪
 - (3) 排水及び廃石廃泥処理用地 一五,〇〇〇坪
 - (4) 空疎地帯及び道路用地 二二〇,〇〇〇坪

合計 三〇〇,〇〇〇坪
 (以上)